

令和5年第4回熊野町議会全員協議会

会議録

1. 招集年月日 令和5年7月31日  
2. 招集の場所 熊野町議会議場 第1委員会室  
3. 開会年月日 令和5年7月31日

~~~~~〇~~~~~

4. 出席議員（14名）

- |           |          |
|-----------|----------|
| 1番 藤本健太   | 2番 世良将生  |
| 3番 水原耕一   | 4番 福垣内邦治 |
| 5番 光本一也   | 6番 中島数宜  |
| 7番 尺田耕平   | 8番 竹爪憲吾  |
| 9番 沖田ゆかり  | 10番 片川学  |
| 11番 民法正則  | 12番 荒瀧穂積 |
| 13番 大瀬戸宏樹 | 14番 時光良造 |

~~~~~〇~~~~~

5. 欠席議員（0名）

~~~~~〇~~~~~

6. 本会議に職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長 榎並正和

~~~~~〇~~~~~

7. 案件

【議会】

- (1) 各常任委員会の活動状況について（報告）
- (2) 議会運営委員会の活動状況について（報告）
- (3) 議会広報特別委員会の活動状況について（報告）
- (4) その他

~~~~~〇~~~~~

8. 議事の内容

（開会9時28分）

○議長（時光） おはようございます。議員の皆様方、本日は、お忙しい中を、全員協議会にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。皆様からの様々な御意見を頂きながら、本日の全員協議会を円滑に進めていきたいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

本日は、議会からの報告案件3件について御協議いただくこととしております。

それでは早速、協議に移ります。

まず、各常任委員会の活動状況について、各常任委員長から説明を受けたいと思います。

まず、光本総務建設委員長、お願いします。

~~~~~○~~~~~

○総務建設委員長（光本） じゃ、総務建設委員会の報告をいたします。

去る6月27日火曜日、10時から16時半の間、総務部、住民生活部、建設農林部の職員の出席を求め、各部署間の前年度令和4年度主要事業の実績状況、そして本年度令和5年度主要事業の概要及び課題等について報告を受けました。

その後、今年度令和5年度の総務建設委員会の活動計画について協議を行い、終了いたしました。

以上でございます。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 次に、中島文教福祉委員長、お願いいたします。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉委員長（中島） 皆さん、おはようございます。文教福祉委員会、先月の6月28日、9時から12時の間で行いました。内容は、令和4年度の事業実績、並びに令和5年度の事業計画、教育委員会、並びに福祉関係の執行部の方から説明を受けました。あわせて、委員会の5年度の活動計画について協議いたしました。重点調査項目として、不登校に関する問題、並びに福祉関係に関しましては認知症に関する問題、これを調査項目として確認したところでございます。

内容等は、サイドブックに張りつけをしておりますので、年間の活動計画等々につきましては、御確認を願いたいと思います。

私からは、以上です。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 各常任委員長からの報告が終わりました。

今お話があったように、サイドブックのほうにそれぞれ細かく出ておりましたが、この御報告について質疑があればお願いします。

荒瀧議員。

~~~~~○~~~~~

○12番（荒瀧） 私も総務出とるんで、総務の重点課題を言うていただいたほうがいいかと思うんですが。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 光本議員。

~~~~~○~~~~~

○総務建設委員長（光本） 総務建設委員会の重点調査項目なんですが、2点、会の中で決定をさせていただきました。

1点目が、筆の里工房周辺整備事業についてでございます。今年度、具体的な体験交流施設の実施設等に入りますので、そういった経過の説明等受けながら、また、議会として提言できるものを調査していこうということです。

2点目は、熊野町の移住定住対策についてでございます。昨年度、令和4年度、若干人口減から微増ですけども若干人口が減少傾向が止まっておるいう状況はありますが、やはり長期的に見て人口が減少していくということで、これからの熊野町の子育て支援を含めた取組が重要になるということで、こちらのほうも委員会として調査項目に上げさせていただきたいということです。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 今、御説明ありましたけど、サイドブックのほうには各委員会、委員の方には細かく出てるんですが、この全協で一応皆さんの御承認いうか、御同意を頂いたら誰でも見れるように、ほかの委員会の者もサイドブックへ送らせてもらうということですんで、よろしくお願いします。

荒瀧議員。

~~~~~○~~~~~

○12番（荒瀧） 今のうちの総務のほうですね、筆の里工房周辺、このあたりも工房も営利目的と非営利の事業をされていらっしゃると思いますね、分けて。その中で、周

辺の公園なんかをどう整備していくか、町の景気の活性化にどういうふうにという視点もあったように思うんですが。

今、立地適正化計画という非常に大事な計画が進んでおります。その議事録は町のホームページに出ておりますけども、委員長は広大の田中先生、副委員長は高専の神田先生ですが、熊野の可能性が十分あると、ただ、今の進め方だったら夢がないと、哲学がないという言葉も出とるんですけど。

県の廣中という課長さんからすれば、議会もどんどん参加いただいて、熱心な提言も欲しいと。是非これはバイパスの延伸も含めて、新しい中核のまちをどう創るかに影響してくるかと思いますので、これはもう連携しながら、是非総務とそういう計画、光本さんが議会代表で出てらっしゃるようでございますので、定期的に御報告も頂きたいと思います。

2つ目、文教厚生の方ですが、不登校は多分増えておると思うんですね、不登校と認知症。原因も多分いろいろ学校なりに考えていらっしゃるとは思うんですが、対策と申しますか、原因と対策、このあたりも是非私ら議員も共通認識で持つとく必要があるかと思います。そのあたりも、今度は情報開示いただいて、文教のメンバーだけでなく、議員全体でアイデアが出るような仕組みも是非作っていただきたいなど、こういう全協の場ですね。

今、現状、数字はまだ分かりませんよね。不登校ね。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉委員長（中島） まだ、把握、完全にしておりません。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 荒瀧議員。

~~~~~○~~~~~

○12番（荒瀧） 例の事業計画のときには、ある程度数字が出て、出されたんじゃないかと。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 中島議員。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉委員長（中島） 執行部と不登校に関してということは、まだ、詳細にお話をしておきませんので、先般の委員会の中では、そういった数値は報告は受けておりま

せんが、これは我々の課題として取り組んでいこうというレベルまでなので、今から引き続き調査、研究していきたいというふうに思います。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 荒瀧議員。

~~~~~○~~~~~

○12番（荒瀧） また、みんなの、議員としての共通認識を持つ、私は子育て終わりますが、子育てされてらっしゃる世代もおられますしね、先輩の保護者として新しい世代、次の世代にね。私らの状況とは随分変わってきてます、社会の状況がですね。それに私らに対応できるかどうか問題ですが、是非御提示くださいませ。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） いずれにしても工房周辺、またバイパス周辺、で、今の不登校と、それぞれ委員会でいろいろ調査してもらっていて、この全協の場で全員でまた話をしただけであればと思いますので、よろしく願いいたします。

~~~~~○~~~~~

○12番（荒瀧） 途中経過でも結構ですから。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） はい。ということで、よろしいですか。

光本議員。

~~~~~○~~~~~

○総務建設委員長（光本） 今、荒瀧議員から立地適正化計画の話が出たので、ちょっと若干触れさせてください。

前年度ういか、去年から今年にかけて2か年で町が立地適正化計画を策定をするということで、昨年から委員会を設置して、これも町長の諮問を受けて、今年度末に答申を上げるという中での策定委員会です。これ、今、策定を、既に策定済んで、熊野町の都市計画マスタープランの高度化版というような説明を町が行っておるんですが、このマスタープランのより具体的なエリア設定的なところも含めた計画が、この立地的成果計画という位置づけになっております。町のほうが素案をつくりながら、委員会に提示をして、委員会の意見を頂いて、具体的な方向性、軌道修正等も含めた計画をつくり上げていくというスケジュールです。

昨年度、2回開かれて、今年度5月に1回開かれて、4回目が8月10日に開かれる

ということです。計6回、最終的には6回、あと、ですから今年度3回ですか、開いて、具体的に計画を案をつくっていこうというスケジュールです。その間、素案をつくった段階で、パブリックコメントとか議会への提示説明的などころは予定をされておるようですが、内容的には今の段階は、町民アンケートを昨年行っております。それと、町内3カ所で、西部、中央、東部の3カ所で、各自治会からの数名の方に出席してもらっての意見聴取会というものを、これは今年の2月に開かれました。その中でいろいろ出た意見を踏まえて、委員会でもんでいくという作業は今3回目までで終わっております。これから具体的なそれを踏まえた素案を4回目以降、8月10日以降から着手していくという段階です。

今、荒瀧議員が言われたように、委員の中では、広大の大学院の田中教授、これ本町の都市計画審議会の委員さんでございます。それと呉高専の神田教授、近畿大学元教授の高井先生、地域公共交通活性化協議会の委員も兼ねておられて、この計画とも非常に重要性があるんでリンクさせていくという方針で進めていきなさいという助言を町に頂いておるようなことです。

いずれにしても、具体的な計画、これから見えてきます。それで町のほうとしても議会のほうにも積極的な説明をしていくという方針を言っておりますので、出てからじゃ、具体的な案が出てからじゃ、なかなか修正的なものは難しいかと思うんですが、荒瀧議員言われたようにホームページ等でもいろいろ議事録確認できるようですので、皆さんチェックいただいて、私が委員で参加をしておりますので、いろいろなアイデアとか提言等頂ければ、委員会のほうでそういったものを上げてみたいというように思いますので、よろしくお願いいたします。

以上でございます。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 詳細な御説明ありがとうございました。

荒瀧議員。

~~~~~○~~~~~

○12番（荒瀧） ちょっと補足的に、町長も副町長もこういう言い方をされています。

公共交通の問題から介護の問題、医療の問題、不動産の問題、串刺しの計画です。横軸の。熊野の課題をそれぞれ洗い出してきたわけですね。熊野の立地のよさもあるんですが、解決せにゃいけん問題、トンネルの問題などもあると思うんですが。とこ

ろを具体的な計画になりますので、大変今からの熊野町の大きな要になります。

1点、弱いのは、県道バイパスというのが余り表に出ない、アンケートのときも県道バイパスを前提にしたアンケートになってないんで、町民の反応が非常に弱いですね。このあたりは是非今後は、でも、県のほうも本気でやるんなら応援するよというスタンスのようですから、どんどん積極的に、県道バイパス沿いの開発、できた後ですと、民間が虫食い状態で土地をあさります、安いところから。そうなると、大きな計画ができにくくなるんです。だから今がチャンスです。県道ができる前にしっかりした計画を立てて、その後道路がつくと、それが理想かと思いますので、是非、よろしく願いいたします。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） この立地適正化計画ですか、もし何でしたら、8月の全協あたりで、執行部に来ていただいて、ちょっと説明をしていただいてもらうのがいいかと思いますが、いかがでしょう。

荒瀧議員。

~~~~~○~~~~~

○12番（荒瀧） 執行部もキャパがどの程度あるかなんですが、復権調査設計というのはコンサルが入っとる。県の廣中先生が課長、これ随分積極的です。で、広大の田中先生、このあたりを聞くほうが、私は議員としては視野の広い議論ができると思います。

来るのにやっぱり1時間以上かかるじゃないですか。国交省の方も課長ぐらいが来られるレベルなんですけど、こういう機会を使うて御高承いただくと。あなたのビジョンを聞かせていただきたいという部分もあろうかと思うんです。御検討ください。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） またいろいろこちらで検討させていただいて御報告しますんで、よろしくをお願いします。

ほかにありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（時光） それでは、各常任委員会の活動経過については、この程度として、次の報告に移りたいと思います。

次いで、議会運営委員会の活動状況について、議会運営委員長から説明を受けたいと思います。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○議会運営委員長（片川） 5月10日、協議内容としては、令和5年第2回熊野町議会臨時会の議事日程についてでございます。そして6月8日、協議内容、会期の決定、会議録署名議員の指名、議案等の協議、それから陳情書、要望書の扱いについてを協議いたしました。

以上でございます。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○議長（時光） この御報告について、質疑があればお願いします。

（「なし」の声あり）

○議長（時光） ないようですので、議会運営委員会の活動状況についてはこの程度として、次の報告に移りたいと思います。

続いて、議会広報特別委員会の活動状況について、議会広報特別委員長から説明を受けたいと思います。

竹爪議員。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○議会広報特別委員長（竹爪） 5月22日、くまの議会だより126号の記事最終校正を行いました。続きまして6月20日、議会だより127号の紙面構成について、引き続き7月4日、記事校正をさせていただきました。続いて7月14日、127号の記事最終校正を行いまして、今日の配付物に入っておりますこの127号ができております。

以上でございます。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○議長（時光） 今の御報告について、質疑があればお願いします。

（「なし」の声あり）

○議長（時光） それでは、議会広報特別委員会の活動状況についてはこの程度として、次の協議に移りたいと思います。

続いて、その他ですけど、私のほうから、何点か皆さんに協議をしたいと思います。

まず、1つ目、毎月実施しているこの全員協議会についてですが、熊野町議会申合せ事項の中に、いろいろちょこちょこ御意見聞くのに、本会議がある月は執行部のほうから何かない限りは飛ばしてもいいんじゃないかなという意見もあるんですが、今ま



で毎月やってきてますけど、皆さん、どう思われますか。

荒瀧議員。

~~~~~○~~~~~

○12番（荒瀧） 私は議会があるときは特にすべきだと思いますね。研修会などの後も、それぞれ14人が聞いた考え、見方というのは全部違いますから。共通認識を持って、どういう目的で一般質問をされたんですかと、やっぱり成果はありましたかと、こういうのを皆の場で話し合うべきではないかと。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） ほかに何か御意見ありますか。

毎月したほうがよろしいという荒瀧議員の御意見ですけど。

（発言する者あり）

○議長（時光） 一般質問のことを言うというのはまた別で考えにゃいけんことでして。

（発言する者あり）

○議長（時光） だから、それは皆さん、それに関してはどう思われますか。そのような思いで私は質問したんですから。そこまで聞く権利があるいうか、皆さん、それ答えられるかどうかということですけど。

民法議員。

~~~~~○~~~~~

○11番（民法） そこまで私も細こうにみんなの前で協議をする問題ではないと思うんですが、私の場合は。それがその質問に対して、あと結果がどうあれこうあれというのは、まだやっぱり日にちがたってみんと分からん、すぐはもう恐らく結論出んことであって。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 荒瀧議員。

~~~~~○~~~~~

○12番（荒瀧） そういう趣旨やなくてね、1つの例で言いますが、例えば立地適正化法でも言い足らんとこ、人によって見方が違う点もあるわけですよ。で、目的は熊野をようするための計画なんですね。この点も質問したほうがいいんじゃないかとか、こういう具体的な数字を入れたほうが、要は執行部も分かりやすかったりじゃないかとか、やっぱり私らも議員になった以上、質問する能力を高めていかなきゃいかん。

日に日に研さんして。そういう中で協議をする場にしたらどうかという意見です。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 今の意見について何かございますか。

ちょっと1人ずつお聞きしてもいいですか。

中島議員。

~~~~~○~~~~~

○6番（中島） みんなで集まる時間というか、そういう機会というか、そういったものがなかなか定例議会、3か月置き、極端に言えばそれで1回会うという人も中にはおっつかも分らないですよ。そういう意味では、皆さんと集まる機会というのは、何らかの形ではあったほうがいいのかなと。それは・・・、定期的に31日というんじゃないなくて、内容等、協議内容に応じて、例えば今回は飛ばしますとかっていうのはあってもいいんだろうと思いますけど、原則、皆さんと顔を見る時間というのは、何らかの形で取っていただければいいかなと思います。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） ありがとうございます。

光本議員。

~~~~~○~~~~~

○5番（光本） 既に私が議員になったときは、もう毎月開かれておるという状況でした。以前ちょっと先輩議員の話を聞く中で、以前はもう執行部からの案件があるとき、これ定例議会の前、それと議会のほうで必要な協議案件があるときにだけ開かれたいう、それも山吹議長のと時から月に1回定期的に開いておるといようにお聞きしたんですが、私は。

毎月1回定期的に会うというのが、私はいいかなと、いろいろ。執行分の案件とかがあるときだけとか、ないときだけ、特別にどうこうよりは、もう定例的にやるというのは、私は賛成です。

先ほどちょっと荒瀧議員の言われた内容的なところはちょっと理解できないんですが、どう言ったらいいのかな、個々の議員のいろんな質問も含めた関心事とか、調査研究、具体的なところを、この中でどうこういうもんじゃなくて、それは例えば本当に重要な議員全員の共通項としてやっぱり皆さんで議論していかなきゃということになれば、これそれぞれの常任委員会とか、場合によったら特別委員会を設置してとかいうとこ

ろで、しっかりと議論すべきじゃろう思うんで。というように感じます。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） ありがとうございます。

水原議員。

~~~~~○~~~~~

○3番（水原） 今、荒瀧議員さんから言ったような、一般質問のことを一つ一つ調査研究するために報告を受けるというようなことをやると、もう収集がつかなくなるような感じになるんで、できれば、その中で、さっきの立地適正化計画でもそうですが、そういう気になるところをピックアップして、議員全員で調査研究するために報告会をするというようなことはやったほうがいいと思うんですが、一つ一つの質問を報告していくのはどうかなという感じをしています。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 全協に関しては毎月かどうか。

~~~~~○~~~~~

○3番（水原） 全協のほうは、僕も1か月に1回ですので、やったほうがいいとは思いますが。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 世良議員。

~~~~~○~~~~~

○2番（世良） 全協のほうなんですけども、私と藤本君、新人議員なんで、毎月やっていただいたほうが知識、いろいろ勉強させてもらうという面でも、毎月1回やってもらったほうがいいのかと思いますので、是非、よろしくお願いします。

質問に関しては、ちょっとまだ、何分ちょっと勉強不足なんでちょっとコメント控えさせていただきます。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 藤本議員。

~~~~~○~~~~~

○1番（藤本） 僕も全協に関しては月1ですんで、集まってお話をできるといいことか

なと思います。

さっき、荒瀧議員がおっしゃった質問の質を上げるというのも、非常に耳が痛い話で、何を質問していいかとか、いろいろ学ぶことがたくさんあるのは、やっぱり今からたくさん吸収して、皆さんから教えてもらいながらやらなきゃいけないんですけれども、質問に関して、いろんな目線があって、いろんな思いがあって、それぞれがやっぱりその場ですべて出してしまうと、水原議員がおっしゃったように収集がつかなくなっちゃったり、どこでじゃ折り合いをつけるのかというふうになってしまうこともあるかと思うので、それはまだちょっと1年目で、どういう形でどう進行していったらいいかということも分からない中、今ちょっとお話をしているんですけれども、収集がつかないのであれば、やはり避けるべき、ただ、皆さんと月に1回顔を合わせてお話しさせてもらって、いろいろなことをお話しさせていただけるというのは非常にいい機会だと思いますので、全協のほうに関しては月1でやるというのは、全然お願いはしたいなというふうには思います。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 竹爪議員。

~~~~~○~~~~~

○8番（竹爪） 私の意見でございますが、全協は毎月していただきたいと思います、私自身は。やはり月に一度ぐらいは皆さんの顔を見ながら情報交換もできるんで、ちょっといいんじゃないかなと思います。

それから、一般質問の件でございますが、それぞれの議員さんがそれぞれ研究されて、自分・・し、また執行部との打合せいうんじゃないですけど、こういうことを質問するというのは、お互いにやっていらっしゃるんで、それには余り手を突っ込みたくないなと思います。ただ、その中身が大きな、みんなで共有認識になった場合は、先ほど言われてました、光本議員の常任委員会で上げるとか、いろんな形を進めるべきではなかろうかなと、私は今はそう思っております。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 沖田議員。

~~~~~○~~~~~

○9番（沖田） 月に1回の全員協議会については、議会のある月にやるかやらないかと

ということについては、私は正直、議会のある月がいいのかなと思ってたんですけども、新人の人、皆さんの御意見を聞く中で、月に一度集まってやるのも大切なのかなと思いましたので、それは私個人的にはどちらでもいいです。

その中で、一般質問についての話をという荒瀧議員からの提案なんですけども、一人一人の質問のレベルを上げていくという意味合いにおいては大切なことですが、まず、いきなり全員協議会でっていうんじゃなくて、先日、議長もおっしゃってましたけれども、一般質問とは何なのかという部分、また議会として、議員として、どのような活動をしていくのかといった研修をまず先にやって、それから全員協議会にっていうほうがいいのかなどは思いますので、全員協議会でいきなり一般質問のことをもむというのは、ちょっとまだ段階的には早いのではないのかなと思います。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 片川議員。

~~~~~○~~~~~

○10番（片川） 月に一度はすべきでしょうね。少ないぐらいのことですんで、やられりゃいいんじゃないですか。

先日来申し上げたとおり、今、沖田議員も言いましたが、やっぱり質を向上していかんやいけないということで、まず、この全協を使うてでも、議員とは何たるものか、議会とはいうものを、ちょっと先に研修されたほうがいいんじゃないですかね。

荒瀧議員が今おっしゃったことに関しては、それを必ずしも議題とする必要はないと思うんですね。質問内容において問題点が生じれば、そのことに関して、その都度、必要に応じて協議すればいいことであって。それを今前提として全協の議題に上げる必要はないかと思います。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 民法議員。

~~~~~○~~~~~

○11番（民法） 私の意見でございますが、全員協議会、月に一遍どうかいうの、皆さんの意見は月に一遍はやったほうがいいのかという意見が多いようなので、それは私も賛成いたします。私の気持ちとしては、今の議会の月に、以前のように2か月に一遍な

り集まって、いろいろと全員協議会すりゃいいんじゃないかいうあれもございましたけど、今、皆さんの意見を聞いたら、月に一遍ぐらいは顔を合わせていろいろな意見  
うか、いろいろ顔見て話をするいうのも大切なことでなかろうかと思ひます。

それと、先ほど荒瀧議員が言われたように、一般質問に關してのことは、多分恐らく  
私が聞いたのは、荒瀧議員が一般質問をすることによって、いろいろとこの全員協議  
会で話をするうか協議をするうなことであったんじゃないかと思ひますが、それは暗に皆さんとこのことに、一般質問についてどうのこうのいうことは、別  
にそこまでする必要はないではなかろうかと思ひます。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 荒瀧議員、まだありますか。

~~~~~○~~~~~

○12番（荒瀧） すみません、ちょっとたとえ話が先に話が進んできたようでございま  
す。一般質問をせいというか、してくださいという意味ではないんです。やっぱり悩  
みますよね。質問をしようと、今、熊野の現状がどんな状態にあるのかというのが、  
1つの一般質問で出てくるわけございまして。それを1人の意見で考えりゃ、切り  
口が一辺倒になるんですね。いろいろな意見を参考にしてください、させてくださいと  
いう場にもなる、またはこっちから追及するんじゃないかと、御本人が一般質問する中  
で、こういう点は悩んどんじゃけど、皆さん、どうでしょうかねというような場にな  
りゃええがなという趣旨でございまして。

その前に、沖田さんが言われる、片川議員が言われるように、まず、勉強しましょう、  
早く研修して、議員とは何か、一般質問とは何か、これを認識した上で、物を進めま  
せんと、砂上の樓閣です。何年議員しても、何が議員か分からんという者が増えてき  
ますから、東京にも早く研修も設定していただきたいですし、場合によれば、そうい  
うインターネットから研修もできるんですから。どんどん早うやりましょうよ。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） ありがとうございます。

大瀬戸議員。

~~~~~○~~~~~

○13番（大瀬戸） ずっとここ8年間毎月やってきたということがありましたけども、まず、毎月というか、たくさんしたほうがいいのは間違いないんですが、ただ、内容があるときと、余りないときと偏ることがあると思うんですけど、例えば余りないとかいうときには、これ練習の1つとして、ウェブ会議というか、リモート会議というのも、これ練習という意味で催してもいいのかなという気がしておりますし、月末今やってますけど、配付物の心配がなくなれば、日程ももう少し柔軟でいいのかなというのが、そういう気がしてますので、もっともっと柔軟性を持った全員協議会というのがあっていいと思います。

それから、一般質問をここで練るという話ですが、練るんじゃないの。

まず、例えば仲のいい議員さん、例えば会派があれば会派で相談ができるかと思うんですけど、仲がいいか悪いかは別として、相談できる方がおられれば、まず、個人的にどうだろうか、どう思うやという話をしてから、もし、もっと深く知りたいから、それこそ相談できる人を見つけてやっていくとか、その相談できるところはないかなみたいないう話はあってもええと思います。

ただ、個人の事情で、個人が考えてきた一般質問ですので、それはやっぱり尊重すべきだと思いますので、例えばつるし上げみたいになってはまずいので、そこら辺はデリケートかなと思います。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） ありがとうございます。

尺田議員。

~~~~~○~~~~~

○7番（尺田） 毎月の全協っていうところなんですけど、定例会前の全協というのは、必須だと思うんですね。ただ、毎月それが必要なのか、それ以外のところについていうところについては、どうなんだろうというのは、個人的にはずっと思っていました。

というのが、さっきは大瀬戸議員さん言われちゃったように、偏りがあるんですね。全協で集まって15分もせんうちに帰ったとか、20分もせんうちに帰った、委員会報告だけ開いて帰ったというのは、今まで多々ありました。じゃ、定例会前だけの全協でいいんかいうたら、それはそれで価値はないんで、何かしらの、どうだろう、こういうことを皆さんで協議してみてもどうかとかいう、必要に応じて招集すればいいん

じゃないのかないうふうには個人的には思っています。

先ほどの荒瀧議員さんからの提案ですよね、一般質問についてなんですけども。あれはどうだろう、その他のところで、この人の一般質問について、もうちょっと皆さんで掘り下げていきたいとか、そこで皆さんが承認すれば、そのことについて時間を持てばいいことだと思うし、必要に応じて特別委員会を持たにゃいけんほどのものなら、そりゃ持てばいいとは思いますが、個々の一般質問の追跡とかについては、一般質問をされた方が執行部と個人的にやり取りをすればいいんであって、議会全体で、それを何とかしていきたいというのであれば、全協の場で、その他のところで提出、個々がされればいいんじゃないかないうふうには思っておりますので、必ずしも顔見ただけのために、15分間、20分間を見るだけのために集まる必要はないのかな。内容を伴った集まりなら私は必要なのかなというふうには思います。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 福垣内議員、今の話なんですけど、全協、毎月やるかどうかいうて、1人ずつ御意見聞いているんですけど、何かあれば。

~~~~~○~~~~~

○4番（福垣内） 必要があればするし、必要がなければやる必要ないという感じ。例えば12月の31日には必要ないでしょうしといったところぐらいです。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 今、皆さんの御意見頂きまして、毎月やったほうがいいと。

荒瀧議員。

~~~~~○~~~~~

○12番（荒瀧） これは、議長と副議長さん、要はこの会を主催する人の能力の問題なんよ。内容をどうするかは、あなたらにかかるとるんですから、議運じゃないんよ、これは。だから、盛りだくさんをどうふうにするか、質を上げるかというのは、あなたたち二人がよう相談されて、練っていただけりゃええことなんです。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） はい、分かりました。練ってやりますんで。

ということで、とりあえず毎月やるということで、何もないうときは、今、お話があったように、副議長と議運の委員長と話をして、また決めますんで、よろしくお願ひし



ます。

続いて、定例議会の日程についてですが、昔ちょっといろいろなことがあって、第2週ということになっとるらしいんですが、よその市町見ても、第1週いうことが多いんで、これに関して、執行部のほうに聞けば、別に第1週でも間に合うよと。ただし、一般質問の締切りが少し1週間ぐらい、10日は早くなると。例えば月末が20日になるということなんですが、これについて、何か皆さん御意見はございますか。

荒瀧議員。

~~~~~○~~~~~

○12番（荒瀧） それをスケジュールに合わせて情報開示ですよ、全協の情報があつて、そこからいつも一般質問に入りますから、早目に、全協の資料も下さいということなんです。だからそこは策略を練ってください、議長と副議長で。と、議運の関係と。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） はい、2人で練ります。

ほかにありますか。ほかにございますか。

中島委員。

~~~~~○~~~~~

○6番（中島） 第2週に今なっているんですけど、やっぱりそれなりの理由があつてなっとるんだらうと思うんですけど。何か、また第1週でするっていったときに、またそういったひずみが出てくるというのもあるんだらうと思うんですけど、その辺はどのようにクリアしていきますか。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 大瀬戸議員。

~~~~~○~~~~~

○13番（大瀬戸） 経緯としては、昔、南田議員さんがおられて、定期的に病院へ行かなきゃならないということで、火曜日に行くんで、そういう関係で、おらんときというのがはっきり分かっとるんだから、この日にしましょうということだったんですよ。それでそれが定着したという理屈です。

~~~~~○~~~~~

○12番（荒瀧） それは違うよ。南田さんが透析する前だったんじゃけ。

3月議会でも第2週にしないでしょう。あれは1か月で議決せにゃいけんいうスケジュールがあるから。固まったものはない。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 熊野町議会申合せ事項というのが、ここには、定例会の開催日、定例会は、おおむね熊野町定例会招集規則に規定される招集月の第2火曜日に開催するというのが、平成27年6月5日、議会運営委員会で決定していると。

~~~~~○~~~~~

○13番（大瀬戸） どっちみち理由は今はないということですね。だから、特に広報が後ろに詰まってから出しにくいということが、ここ最近あったんで、少し早めるというのは別に問題はないかなというふうには思いますが。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 荒瀧議員。

~~~~~○~~~~~

○12番（荒瀧） 広報の視点から見れば、早うしたほうがいい。そうしたら早う出せますから。あがに2か月も遅らせて出すことない。広報もコンパクトにまとめてとんと出しゃええ。言えばいろいろ視点が変わってきますから、こだわることはない。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 竹爪委員長、広報の立場から見てどうなんですかね。

~~~~~○~~~~~

○8番（竹爪） 広報としたら、第2週よりは第1週ありがたいなと思っております。特に12月の定例会なんかは、随分お正月休みがあつたりして、とても窮屈でございます。ただ、皆様方の御意見で、この定例会の日程も第2週がいいのか、第1週の火曜日からスタートがいいのかというのは、また皆さんで決めるべき問題ではなかろうかなと思っています。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 沖田議員。

~~~~~○~~~~~

○9番（沖田） 海田町なんかはいつも月初めにやっていますので、執行部さえ準備ができるのであれば、第1週でもいいと思います。やっぱり第2週にしてたからこそ、議運

がその前の週にあって、で、議案が出てくるのが月末という流れがずっと長年来て  
ますので、第1週にすることで、全部変わってくると思うんですよね。執行部の準備  
も、今までよりは早くしないとイケないし、ぎりぎりに議会に出されてもいけないの  
で、せめて1週間、10日前ぐらいには議案が出てこないといけないといったものが、  
執行部がクリアできるのであれば1週でもいいのかなと思います。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） ほかに御意見ございますか。

尺田議員。

~~~~~○~~~~~

○7番（尺田） ちょっと議長に聞いてもらいたいんですけども、議会の招集権っていの  
は、定例会やっとるところは招集権は町長にあるんですよね。通年、委員会であれば  
招集権というのは、議会が持つということになっとるんですけども、1週早めることで、  
執行部のほうの議会に対しての段取りとか準備ってというのが、執行部側からしたらど  
れだけ影響があるんか、その辺をちょっと確認をしていただけたらと思います。提案  
です。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） ありがとうございます。一応ちょっと確認はしとるんですが、今一度  
確認をした上で、さっき荒瀧議員が言われた3月の議会なんて、特に早くいうですね。

執行部に確認の上、来月のまた、いずれにしてもやるとしても12月。9月は無理で  
すから12月議会、もしくは3月議会ですんで、8月の全協でまた御報告した上で、  
皆さんにお諮りをしたいと思います。よろしくお願いします。

済みません、ここに書いてないんですが、常任委員会が2つになりましたよね。申合  
せでしたら、決算特別委員会の副委員長のほうを、委員長は副議長ですね、副委員長  
を3つあった委員会で分けてもらったんですけども、今度2つになりましたんで、例  
えば予算はこっち、決算はこっちという形でよろしいですかね、それで。2つですか  
ら。

片川議員。

~~~~~○~~~~~

○10番（片川） 今まで固定できとって、総括質疑がなかったけど何とか対応できたんだ  
ろうけど、活性化してきてね、質疑が出たら、副委員長さん答えれんよ。そのときに

はどう対応するのかというのは、議会として、議長なんかどう思うとってんか知らんが、質疑出たら絶対答えれんけんね。これをどう捉えとるんかのう思うて、わしは今までずっと見てきたんじゃが。充て職のような格好での。ほんじゃけ、今回これでやって、ええんかの、そんなことで。どう思うてかの、皆さんがああそれでええ、これじゃけ質疑すまあでという申合せならそれでもええかも分からん。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 一応、これはですね、平成29年、議会の委員会で決定したことでございます。今、片川議員おっしゃったように、もう今までこちらの部屋でほとんど質問されて、もう何もないぞという感じでやってきたものですから、それがいいか悪いかは別として、今後どういう形になっていくかということはあるんですけど、私としてはこのままでいけばいいんじゃないかと思えますけどね。それぞれやはり副委員長さんもしっかり対応していただければいいということで。

片川委員。

~~~~~○~~~~~

○10番（片川） 総括もあってしかりでね、あるべきなんよ。今までの議会の流れで言うたら、ああ、ここでちゃんちゃんしとこうやいうのが決まり事じゃったんやね。本来、その姿でいいのか。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） これに関しては、議運で前回も決めてますんで、次の議運のときに協議していただけんですかね。

~~~~~○~~~~~

○10番（片川） そこらもようよう踏まえて考えてみてくださいやいう提案ですよ。要するに今までどおりええどええどで済ませていくのか、そこらですよ、問題は。そこをやっぱり念頭に置いとかんといけんのじゃないんかな、今までどおりの、もうええじゃないかええんじゃないかで済ませていくんが議会じゃと。そこらもようよう踏まえた上で、勉強していかないけんのじゃないんかなというところですよ。

まあ、次に協議しよう言うんならそうしてみてください。それまで皆さん、今言うたことで考えやったらいいんじゃないですか。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 荒瀧議員。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○12番（荒瀧） さっきの立地適正化の分で、民生から全部串刺しの計画なんよ。という  
ことは、本会議で全部そろとるときに全部質問したほうがええ。だから一般質問、  
総括質問は要るようになる、今から。全体を変えていく時代ですからということです。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○議長（時光） 片川委員。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○10番（片川） 熊野の問題としては、議会制なんですよ。委員会制でないんでね、勝  
手のいいときには委員会で話しようと、勝手のいいときには議会で言えいような空  
気をつくってね、委員会でもんだけて、うちは議会制じゃって、こうやったんじゃね、  
何の進歩もないんでね。そういうところもよう考慮して、勉強していかにゃいけんか  
のう、課題ですよ。必ずしもそうせんかいいうんでなくして、今から皆さんが議会  
とは、議員とはいうものをまた再度考え直したときに、今後どうしていくべきなのか  
というところも協議していかにゃいけんのじゃないか。

以上です。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○議長（時光） その件に関しては、じゃ議運のほうで、またよろしく願います。

沖田議員。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○9番（沖田） 今ちょっと予算と決算のお話が出たので、これ、議長にお願いなんです  
が、決算特別委員会のために、支払い命令書や領収証の閲覧時間というのがあります。  
これ、うちの議会だけということをお聞きしましたので、はっきりよそのま  
ちがどうなっているのか、閲覧時間をどうしても設ける必要があるのか、個人情報  
がかなり載ってますので、そういったことも含めて、他市町の状況の調査等、各議員  
さんにどうしてもこの閲覧時間が要るんじゃ、見にゃいけんのじゃいう人がいらっし  
やるのか。そうでないんであれば、私はなくしてもいいのかなと。そこはちょっと議長  
にお任せしたいんですが、各市町の調査をちょっとお願いしたいなと思ひまして。よ  
ろしく願います。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○議長（時光） いずれにしても9月決算ですんで、今年度は間に合わないかも分からな

いですが、早急に調査だけはさせていただきます。

続いて、今まで個々で市町村アカデミーとかいろんなアカデミーを、公費旅費で研修に参加された場合、報告書というのがなかったものですから、今後はお手元にあると思いますが、こちらですね、これを提出していただいているということで、これを一応皆様の決まり事としてお願いしたいと思います。

常任委員会の場合は、委員長がまとめて御報告いただきたいと思いますので、この件、徹底していただくように、よろしく申し上げます。

あとは、さっき片川議員のほうからも勉強せにゃならんという話もあったんですが、各委員会、視察等決めておられますが、全員で行くほうですね、研修、これは例年でしたら、過去11月頃ですかね。1つ思いとしては、新人さんもいらっしゃるんで、国会陳情を含めて、例の全国町村議会会館、勉強会させてもらったんですが、あそこに行きたいというのと、国総研ですか、結局行かずじまいということがあったんで、そこらはどうかなと思うんですが、次の全協までに、皆さん、ほかに思いがあれば、1泊するか2泊するか、今の陳情と市町村議会会館、国総研もちょっと遠いんですかね。筑波。1泊2日で行けるものなのかいうのもちょっと。

まだ何も話もしてありませんので、一応、ちょっとその辺の案を思っている程度で、この8月の全協のときに皆さん何かあれば、具体的なものを含めて。

~~~~~○~~~~~

○10番（片川） それは前もって事務局が確認しとかんと。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 8月の全協のときには、打診して、日にちもある程度絞った上で。

それ以外、今の時点でどこか要望がありましたら、そこも調査しておきます。

ほかに場所、ないですかね、今のところ。

沖田議員、何か前ちょろっと。

~~~~~○~~~~~

○9番（沖田） 国総研がいいんですけど、もしも駄目だった場合には、みなとみらい防災センター、阪神・淡路大震災の後に造られた建物なんですけど、非常に実感できるというか。神戸なのかな、兵庫。もし国総研が駄目だったらですけどね。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） それも案の1つとして。先方に問い合わせしておきます。

ほかに何かありますか。

沖田議員。

~~~~~○~~~~~

○9番（沖田） 先ほどの熊野町議会の申合せ事項の中に、農業委員会の委員の記載があるんですが、これ議会選出が廃止されてますので、削除するべきじゃないかなと思うんですが。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 令和4年2月4日の分ですかね。

~~~~~○~~~~~

○9番（沖田） そうです、国会要望陳情の下のほうにあるんですけど、農業委員会っていうのが。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 削除しときますが。

~~~~~○~~~~~

○9番（沖田） してます。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） いやいや、この1枚の裏表のどこやろう。

~~~~~○~~~~~

○9番（沖田） うちに来てるのには削除してなかったですけどね。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） ああ、ここに来てんのはね。

~~~~~○~~~~~

○9番（沖田） ええ。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） はい、それじゃ削除するようにしますんで、充て職ないんですから。

~~~~~○~~~~~

○9番（沖田） 済みません、それとこれももしかしたら、もう変えとってかもしれないんですけど、先ほど言った予算決算特別委員会の副委員長を各常任委員会の副委員長にするっていう部分の、今、2つになってますけど、3つのままになっていたので、もう直されてます。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○事務局長（榎並） それを今日、今、どうするかという発言をさせていただいたんだけど、一応議運のほうでちょっと検討していただいてという形になりますので。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○9番（沖田） ええ、だから3つのままになってますよね。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○事務局長（榎並） 後で直させていただければと思います。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○議長（時光） 済みません、3ページにありましたね。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○9番（沖田） ありました。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○議長（時光） 手元に1ページしかないもので。了解です。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○9番（沖田） そうなのか。じゃ、お願いします。それだけです。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○議長（時光） それではほかにございませんね。

片川議員。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○10番（片川） 話のついでで、予算委員長、決算委員長の件やけど、議運でお話しするて、議運の中、今、副委員長が民法氏と水原氏。水原氏議運に入っとるま。おらんところで聞くのも、・・・分かるいうて、本人の意思を聞いてみないとね。大丈夫ですか、総括質疑があっても答えれますかということも問うとかないけんよね。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○議長（時光） 本人さんに。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○10番（片川） でも、いや、ほんまのところですよ。それ、私ら、そこだけでええんじゃないいうのはみやすいことじゃが。責任は民法氏と水原氏にかかってくるわけじゃけね。これは議長さん、聞いとかれてください。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜



○議長（時光） 分かりました。議運までにちょっと根回し、話を聞いておきます。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） それでは以上で全員協議会を終わります。

（閉会 10時25分）

上記の記録の内容が正確であることを証するため署名する。

熊野町議会議長

熊野町議会副議長